全中道研会報

令和８年３月 16 日（第４号）
全日本中学校道徳教育研究会
https://www15.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1350010

第３回 役員・理事会



令和８年２月２８日（土）、上廣倫理財団ＵＦホールを会場に、全日本中学校道徳教育研究会理事会、関東甲信越中学校道徳教育研究会理事会（第３回）をハイブリッド形式で開催しました。今回は、多くのご来賓の皆様をお迎えして開催することができました。

はじめに、全中道研・加藤敏久会長、ご来賓の文部科学省教科調査官大平剛生様、上廣倫理財団シニアマネージャー上田博次様、相談役柴原弘志様、全中道研顧問齋藤直子様から、それぞれご挨拶を頂戴しました。

主な議事は、以下のとおりです。

１　令和７年度事業概要報告
２　令和７年度決算報告
３　令和８年度事業計画案
４　令和８年度予算案

事前に配付した事務局確認事項に基づいて説明を行い、承認をいただきました。なお、年度末の事業等が残っていることや助成金額が確定していないこと、若手育成研修の内容を検討していることから、正式な報告および計画については、新年度の第１回役員・理事会にてお知らせする予定です。

５　研究大会の報告・計画等について

①全国大会

○令和７年度　　岐阜大会（11/27、28）
　岐阜市立長良中学校、グランベール岐山
○令和８年度　　東京大会（11/5、6）
　板橋区立赤塚第二中学校、板橋区立文化会館
○令和９年度　　奈良大会（11/18、19）
　大和郡山市（中学校２校）、他を予定
○令和 10 年度　愛媛大会（11/16、17）
　松山市立勝山中学校、松山市立子規記念博物館他
○令和 11 年度　島根大会　松江市
○令和 12 年度　長崎大会



②ブロック大会

ア　北海道［毎年開催］R7 札幌 / R8 釧路 / R9 空知　R14
イ　東北［毎年開催］R7 秋田 / R8 青森 / R9 休会 / R10 山形 / R11 宮城 / R12 秋田 / R13 岩手 / R14 青森
ウ　関東甲信越［毎年開催］R7 山梨(オンライン) / R8 東京 / R9 茨城 / R10 千葉 / R11 未定
エ　東京［毎年開催］R7 東京 / R8 東京 / R9 東京
オ　東海北陸［全国開催］R7 岐阜(11/27.28)

カ　近畿［毎年開催］R7 大阪 / R8 京都 / R9 奈良/R10 滋賀 /R11 兵庫 / R12 和歌山

キ　中国［隔年開催］R7 広島 / R9 鳥取 /R11 島根

ク　四国［隔年開催］R8 香川 / R10 愛媛

ケ　九州［隔年開催］R7 鹿児島 / R9 熊本 /R12 長崎

６　令和８年度役員組織

・令和７年度の加藤敏久会長が、令和８年度も会長を継続することが承認されました。併せて大川直樹事務局長も継続になります。

・会長と事務局長の正式な決定は、令和８年度第１回役員・理事会となります。

７　事務局からの連絡

（１）年度当初の各地区への連絡等について

◇令和８年度当初に全中道研事務局から各地区への連絡が必要となった場合、令和７年度の役員・理事へご連絡（メール）いたしますので、転送等のご対応をお願いいたします。また、現役員・理事の方で、年度末に退職・異動等でメールアドレスが変更となる場合は、新しいメールアドレスまたは代理の方のメールアドレスを事務局加藤までメールにてご連絡ください。

事務局：

naoki.okawa@city.shinjuku.lg.jp

（２）令和８年度都道府県代表者（ブロック代表）の報告について

【令和８年５月１３日（水）締切】

◇例年、新年度の代表者の把握に苦労しておりますので、必ず早めご連絡ください。なお、地区の総会が６月に入ってから開催される場合は、内定の段階で提出期限までにお知らください。総会で変更があった場合には、その時点で決定した代表者名を改めてご報告ください。

（３）新顧問・新参与の確認について

◇令和8年度全中道研会長職、関中道研会長職は令和７年度から継続される予定です。

会長職をご勇退された後は、全中道研顧問、関中道研顧問という立場で道徳教育に関わっていただくことになります。今後、会長職を交代される場合は、新しいご連絡先を事務局へメールにてご報告いただくことになっています。ご承知おきください。

◇令和８年度新参与について、令和７年度をもって、**全国副会長職**をご勇退される方々におかれましては、全国参与という立場で、道徳教育に関わっていただくことになります。（令和８年度に理事等であっても令和７年度副会長であった方は該当します。）**全中道研事務局から参与の方へのお知らせは、HP に掲載いたしますのでご確認ください。**

（４）令和８年度功労者表彰候補者情報の確認について

【令和８年５月１３日（水）一次締切】

◇功労者（表彰者）推薦基準（推薦方法等は令和８年度第１回役員・理事会にてお知らします）全日本中学校道徳教育研究会に貢献した会員について、退職時に各都道県道徳教育研究会からの　申請に基づき、役員会、理事会の承認を得て記念品を贈ります。全日本中学校道徳教育研究会の役員を退任した方も対象とします。原則として、令和９年３月３１日付（令和８年度末）の退職者が対象です。注：推薦基準、令和８年度末の退職者等は、あくまでも基準です。表彰者につきましては各地区の実情でご推薦ください。なお、理事会での承認が必要ですのでご承知願います。功労者氏名・住所、推薦理由等を Google forms『表彰候補者推薦の報告』にてお知らせください。

（５）令和８年度道徳教育推進教師育成講座の推薦について

【令和８年６月１９日（金）締切】

①日　程　令和８年８月１日(土)・２日(日)
②持ち物　要端末持参
③会　場　上廣倫理財団 UF ホール（予定）
※模擬授業を実施するため会場への参加を原則とします。
④受講者（定員４０名程度を予定）
○各ブロック及び各地区からの推薦者が受講対象者となります。参集して参加する受講者については、原則、各ブロックが申請して助成を受ける上廣倫理財団の助成金を活用してください。
※大会開催地区から複数名が参加する場合は、２名以降の受講者の交通費を全中道研事務局で補助します。
○**令和８年度・９年度の全国大会開催地区（東京・奈良）**については、参集で参加することを原則とします。※ZOOMを活用した参加も可とします。
○**令和８年度の各ブロックの開催地区（北海道・青森・東京・京都・香川）**についても、参集で参加することを原則とします。※オンラインでの参加も可能です。
○他地区からもご推薦をお願いします。
なお、理事の皆様の受講生としての参加も可能です。

○令和８年度　役員・理事会の開催予定
・第１回：令和８年７月４日（土）
　会場：上廣倫理財団ＵＦホール
・第２回：令和８年１１月５日（木）
　会場：板橋区立赤塚第二中学校
・第３回：令和９年２月２７日（土）
　会場：上廣倫理財団ＵＦホール
○令和８年度　道徳教育推進教師育成講座
・令和８年８月１日（土）２日（日）
　会場：上廣倫理財団ＵＦホール

ブロック大会東京大会報告

東京都中学校道徳教育研究会長　木村　知広

１　大会主題

人間としての生き方について考えを深める道徳科の指導の工夫

２　期日

令和８年２月１０日（火）

３　会場並びに開催形態

（１）会場
国分寺市立第四中学校
（２）開催形態
参集方式

４　公開授業

○テーマ：今日的な課題や地域特性を生かした道徳科の推進
１学年：C11【公正、公平、社会正義】
教　材：魚の涙（廣済堂あかつき）
授業者：世田谷区立桜丘中学校
教諭　大谷　秋音
小平市立花小金井南中学校
主任教諭　武田　　彩

○テーマ：道徳科における補助教材（副教材）の効果的な活用
２学年：C10【遵法精神、公徳心】
教　材：二通の手紙（文部科学省）
授業者：板橋区立桜川中学校
教諭　荒幡　智佳
国分寺市立第四中学校
主任教諭　荒井　雄平

○テーマ：道徳科における個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
２学年：C18【国際理解、国際貢献】
教　材：六千人の命のビザ（東京書籍）
授業者：大田区立東蒲中学校
主任教諭　水嶋　美優

２学年：Ｂ８【友情、信頼】
教　材：違うんだよ、健司（文部科学省）
授業者：八王子市立宮上中学校
　　主幹教諭　海老澤　宏

５　協議会

テーマを踏まえた本時の授業提案に対して、授業者及び分科会部員、参加者と協議を実施した。

６　研究発表

池田和幸研究部長から令和７年度の取組等について発表を行った。

７　指導講評・講話

演題：人間としての生き方について考える道徳科の授業とは」
講師：國學院大學　教授　澤田　浩一　氏

今大会は、令和８年１１月５日、６日に板橋区で開催する第６０回全日本中学校道徳教育研究大会東京大会を見据えた研究発表会として位置づけました。そのため、全中道大会における課題別分科会のテーマごとに、都中道研究部員を３グループ分け、それぞれのグループで研究を進めるとともに、公開授業の提案を準備し、発表しました。

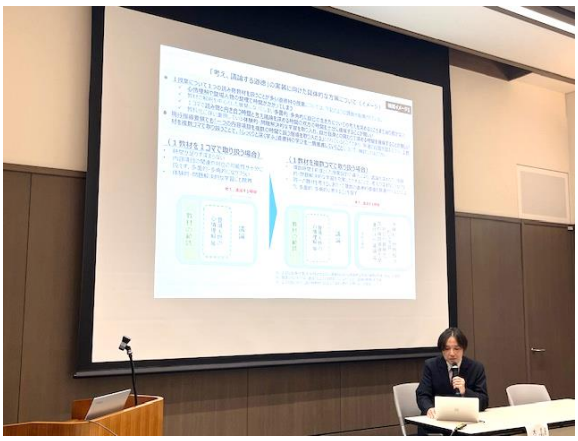
当日は、講師の澤田浩一教授を始め、多くの皆様からご助言等をいただきましたので、全中道大会本番に向けて、研究をさらに推進し、より良い提案ができるよう準備していきます。

なお、東京大会の詳細については、役員理事会やホームページ等でお知らせいただきますが、開催日程については、ぜひご予定いただけたらと思います。全国からより多くの皆様のご参会をお待ちしております。



講演
道徳科授業の更なる充実を目指して

第３回役員・理事会では、国立教育政策研究所教育課程研究センター教育課程調査官、文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官の大平 剛生先生をお招きして、「徳科授業の更なる充実を目指して」と題して、ご講演をいただきました。大平先生からは、学習指導要領の改訂に向けて現在行われている教育課程部会ワーキンググループでの内容に触れていただきながら、現状と課題やこれからの道徳科授業について具体的な検討内容等のお話をいただきました。「考え、議論する道徳」を実装する上での課題や方策内容とともに、道徳科授業の質的向上について、目標・内容の構造化や見方・考え方とのつながりについて、内容項目の整理と重点化、また評価の検討の方向性などについても触れていただきました。いずれにしても検討内容は、今まさに始まったところであるということと、講演で使われた資料の多くは文部科学省のホームページに公開されているということでした。複数の道徳的価値を取り扱うことや、複数時間（２時間）で授業を行うなど授業改善の具体的な内容についてご示唆いただきました。



寄稿「先生の居る道徳科授業」

全日本中学校道徳教育研究会
顧問（二十六代会長）　永林　基伸

いよいよ、今年は、新学習指導要領改訂に向けて最終答申がなされる年です。先日、道徳科のWGの第３回会議が開かれました。答申の方向は、「考え、討議する道徳の実装のフェーズへの移行」と、さらなる道徳教育の質の向上に踏み込みました。改定となれば当然ですが。

これまでの改訂に際して、毎回指摘されているのは、「教材の心情理解を中心とした」、「教材の解釈を中心とした定型的、予定調和的」な授業がみられる、とあります。しかし、これらは、新しい方策を立てれば改善される問題なのでしょうか。学校としては、悔しい限りです。

私は、これまで新規採用教員の指導で、先生方から、「どうもありきたりの答えしか返ってこない」、「討議をさせることができない」など、まさにWGグループの答申通りの答えが返ってきます。その際、「この授業をするために先輩に相談したの」と聞くと、「先輩の授業の指導案や授業を見てやっています」と、ほとんどの先生が答えます。「なるほど」と、分かっていながら頷いて見せるのですが。

そこで、「あなたなら、この主題のねらいと資料に、どう向かい合いますか」ときいてみると、そこに自分の存在が無くなってしまうのです。

我が国の中学教育が、欧米の授業と大きく違うのは『学級経営』の上に成り立っているところです。多くの若い先生方に、『あなたの考える教師像は』と聞くと『生徒と共に学び伸びる教師』と、答えます。どうでしょう、もう皆さんはお分かりのことと思います。先生は、生徒の道徳の授業の中に居ないのです。

どうか、道徳教育推進教師の先生方を始めとする授業実践でご活躍の先生方、各都道府県市区町村の校長先生方には、宣伝ではないのですが、「そこに愛はあるのか」（カントの言う真理を求める愛ですが）と、語りかけて、一歩前に進んでみて下さい。多忙な先生方の勤務は、改善されなければなりません。でも、学校で解決できることがあります。

迷い、悩み、時に判断に苦しみ、私たちと一緒に考え、励ましてくれる先生が、道徳の授業の中に居ることが、生徒に求められているのです。



編集後記

第３回役員・理事会では、加藤会長より、「皆様、本日は全日本中学校道徳教育研究会役員・理事会にご参加いただき、誠にありがとうございます。おかげさまで７年度も終わろうとしています。全国各地での道徳教育の発展にご尽力いただきまして、誠にありがとうございました。現在、学習指導要領改訂のワーキンググループによる協議が進んでおります。その資料の中に、AI 時代にとりわけ重要となる「人間として生きること」や「価値判断と責任」という一文がございます。皆さまご承知の通り、生成ＡＩは「最適解」を提示するのは得意ですが、その最適解通りにはいかないのが人間です。多様性の時代に他の人たちとよりよく生きるには「納得解」が求められると思います。体験や経験をもとに人間としてのよりよい生き方を考え、議論し、納得解を創り上げる道徳教育、道徳科の重要性はますます高まり、同時に、全中道研の役割と責任も大きくなるものと思っております。道徳教育は我が国の学校教育になくてはならないものです。道徳の灯を消すことなく、これまで以上に充実させ、広く発信していく覚悟です。最後になりますが、本役員・理事会の開催にあたり、ご尽力いただきました上廣倫理財団をはじめ、関係者の皆様、相談役、顧問の皆様に、心より感謝申し上げます。本日は、どうぞよろしくお願いいたします。」
とご挨拶がありました。

また、参加された顧問を代表して齋藤直子先生からは、この全中道研は全国の理事・事務局がいつでも相談できることで継続してきました。いつでも全国の研究会事務局の皆さんが、相談し連携できる関係でいてほしいと思いますと激励のお言葉がありました。

令和７年度も、全国組織としての全日本中学校道徳教育研究会の活動が無事終えることができました。役員・理事の皆様には、日頃よりご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございました。改めまして感謝申し上げます。顧問、参与、相談役等の皆様からのご支援やご声援にも厚く御礼申し上げます。

次年度以降も、本研究会がますます充実、発展していくよう努めてまいりますので、引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

全中道研・事務局長　大川直樹
（新宿区立落合第二中学校　校長）

